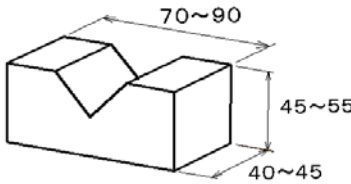


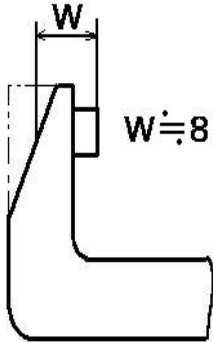
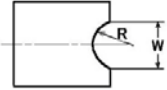
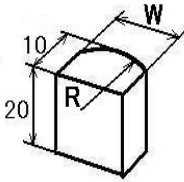
公 表

第49回技能五輪全国大会

『抜き型』職種 機械加工用 持参工具等一覧表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
工 具 類	正面フライス	型式 50番	1式	
	クイックチェンジホルダー		1	
	ドローイングボルト		1	会場のものを使用しても可
	エンドミルホルダー		適宜	レンチも含む
	コレット		適宜	
	正面フライス用チップ		適宜	
	エンドミル	φ30.0以下	適宜	
	ドリル	φ30以下	適宜	
	面取りドリル		適宜	
	センタードリル		適宜	
	ドリルチャック		適宜	
	油砥石		適宜	かえり取り用 特殊な加工のないもの
	心出しバー		適宜	段付き又は平行ピンのみ
	木ハンマ		2	プラスチックまたは無反動ハンマでも可
	マシンバイス横万力	口金の幅150～250mm	1	回転台付き不可
	ワイヤーブラシ		1	
	平行クランプ	開口部 0～60mm, 0～100mm	各1組	フライス加工時不可 コの字形状補助具使用可
	パラレル	マシンバイス用	8組以内	特殊な加工のないもの、逃げがある場合は、テープは貼ること
	コンパス		1	
	センタポンチ		1	
	けがき針		1	特殊な加工のないもの
	ハンマ	JIS呼び番号1／2～1程度	1	
	スコヤ		2	特殊な加工のないもの
		Vブロック		1
	マグネットスタンド		2	
	鉄工やすり	平形，細目	2	かえり取り、糸面取り用
	位置決め治具		1	

公表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
測定器具類	ハイトゲージ	1 / 50 目盛、150 ~ 300 mm	1	デジタル式は不可
	外測マイクロメータ	1 / 100 目盛 0 ~ 25 mm , 25 ~ 50 mm 50 ~ 75 mm , 75 ~ 100 mm 100 ~ 125 mm (調整用ブロックゲージを用意すること)	各 1	デジタル式は不可、狭い場所でも測定できるようにフレームの先端を下図のように加工してもよい 
	デプスマイクロメータ	1 / 100 目盛 0 ~ 25 mm	1	
	ノギス	1 / 20 目盛、150 または 200 mm	1	デジタル目盛りも可
	スケール	150 mm	1	
	テコ式ダイヤルゲージ	1 / 100 目盛	3	スピンドル式可 マグネットスタンド用及びコンパレータスタンド用とする
	測定用平行ピン	φ6×50mm, φ8×50mm, φ10×50mm	各 1	
	特殊ゲージ	図に示す形状で R 13 用及び R 15 用の 2 種類 W (幅が 15 mm 以上) 	各 1	ゲージの板厚は、2 ~ 3 mm であること
	R 部測定子	図に示す形状で R 13 用及び R 15 用の 2 種類  W (幅 = 15 ± 0.5 mm)	各 1	幅及び高さは図示以下であれば可
	コンパレータスタンド		1	マグネットスタンドでも可
	定盤	300 × 300 mm 程度	1	

公表

区分	品 名	寸 法 及 び 規 格	数量	備 考
その 他	保護めがね		2	
	はさみ		1	
	カッタナイフ		1	
	光明丹(鉛フリー)		若干	付属刷毛、代用品可
	バイス口金		若干	材質任意
	シクネステープ		適宜	材質任意、テープ保持具可
	ウエス		若干	
	マジックインキ		若干	
	青ニススプレー		若干	
	加工きず防止用テープ		適宜	切り粉によるきず防止を前提としたテープ
	鉛筆及び消しゴム		適宜	ボールペンも可
	作業台清掃用刷毛		適宜	
	エアスプレー		若干	
	切削油		若干	
	洗浄油		若干	
	防錆油		若干	
	図面立て	A 3 (297×420mm) 用	2	バインダーも可
	手元照明		適宜	他の競技者に影響を及ぼさない程度のもの
	時計		2	ストップウォッチも可
	卓上計算機		1	プリンター付、プログラム付、電源を必要とするものは不可
他	踏台またはマット		1	
	運搬用箱		適宜	製作部品用
	作業台	900×700×1000mm 程度	2	ワゴンタイプでも可 引出しを使用する場合は、左記寸法以内とする
	バイス及びフライス盤 セッティング工具類		1 式	

(注)

1. 持参工具は、本来の使用目的以外の用途に使用してはならない。
2. スコヤ、Vブロック、当てずりブロック等を比較測定に用いてはならない。
3. 正面フライスの代替は、監督から受け入れることを可能とする。
4. 環境や健康上問題のある脱脂剤（トリクレン、フロン 他）及び潤滑剤は、使用しないこと。
5. 洗い油は競技会場には準備しない。
6. 安全衛生上の保護具等は、本一覧表に記載がなくても使用してよい。